

香川県に生息する

陸産・淡水産の貝殻コレクション展

観音寺市大野原町中姫在住・矢野重文

日本には、約 900 種の陸産貝類（すべて巻貝）、約 110 種類の淡水産貝類（汽水産【約 35 種】、純淡水産の巻貝【約 50 種】と二枚貝【約 25 種】）が生息しています。

今回は、香川県において生息が確認されている **142 種の陸産貝類（ナメクジ類 9 種を含む）** と **61 種の淡水産貝類**、合わせて 203 種のすべての標本を展示しました。

私は貝類の収集を約 60 年間続けて、日本産の海産貝類を約 4000 種、陸産・淡水産貝類を約 800 種収集しましたが、ここでは、特に陸産貝類収集の魅力をお伝えします。

①貝類は微小な種が多いけれど、多様な形態と地味ではあるが深みのある色彩をしており、野外で出会った時には、こんな所にこんな生き物がいるのかという感激があります。

②多種の貝類が生息する豊かな自然に触れることができます。

③採集した標本を同定する（種名を調べる）作業を繰り返すことによって、各種の個体変異の幅が見えるようになり、標本整理が次第に楽しくなります。

④その大部分が小型種なので、標本がコンパクトに収納できるため、標本の保管がしやすいです。

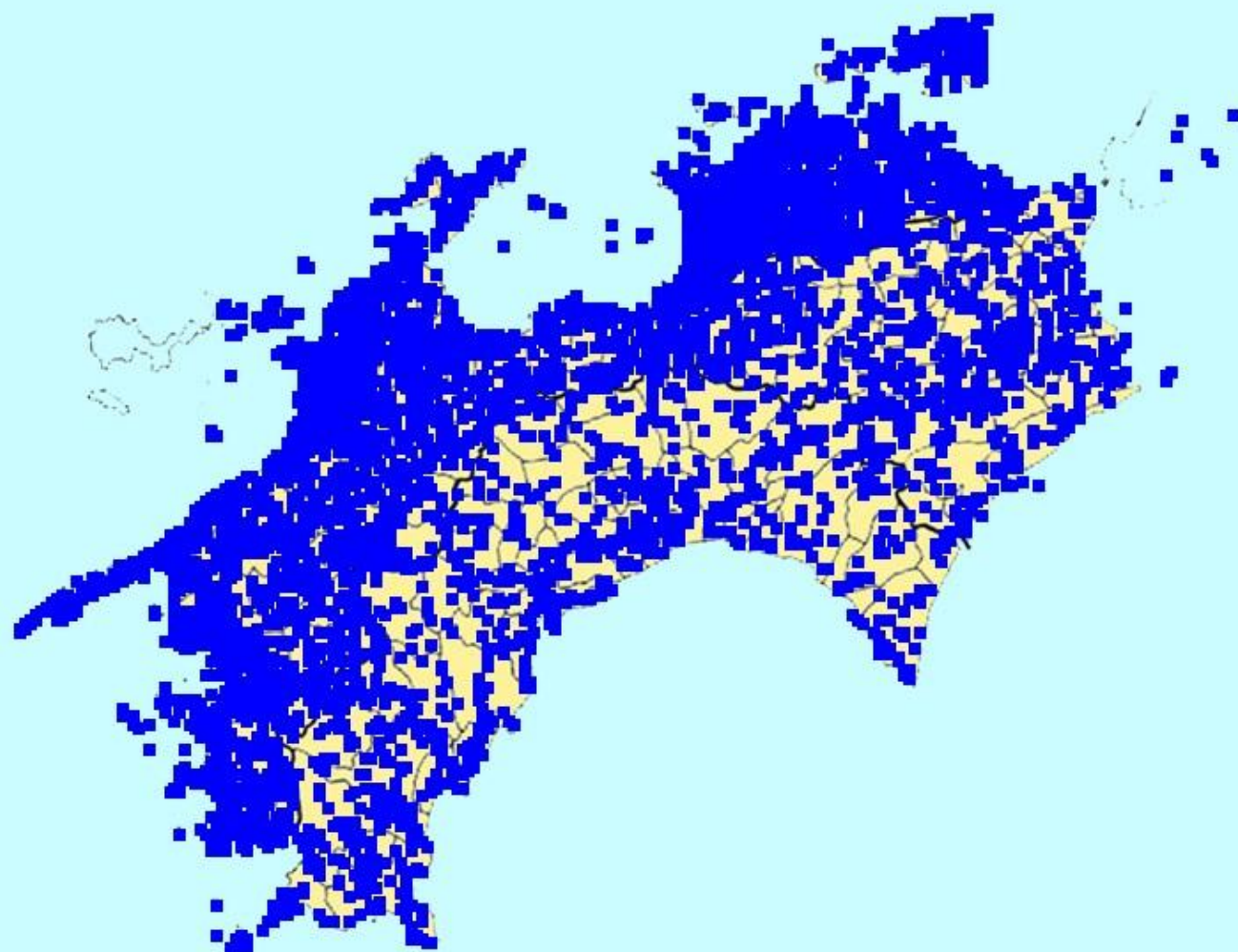
⑤種毎に、分布図を作成すると、その種の発生起源が見えてくることがあります。

⑥カタツムリを求めて、全国を旅することができます。

⑦たくさんの同好の仲間と、交流できる楽しみがあります。

⑧分類を深めていると、新種が見つかることがあります。

■全調査地点一覧図



作成：2026年8月29日